

空港の脱炭素化 工程表

令和4年2月4日

空港の脱炭素化に向けた工程表(空港施設・空港車両・再エネ拠点化)

各メニューの取組

凡例 ▶ 調査・検討段階 ▶ 試行・実証段階 ▶ 導入・運用段階




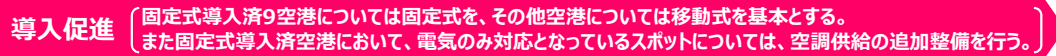























		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	~2030年度	~2050年度
空港施設	空港建築施設のCO2排出削減	○既存設備の高効率化 [調査・検討]	実証	設備更新時の高効率設備・BEMS等の集中的な導入の促進			[導入・運用]	[導入・運用]
	○建替・増築時の省エネ対応	[調査・検討]	実証	建替時・増築時のZEB水準対応の推進			[導入・運用]	[導入・運用]
	航空灯火のLED化	[調査・検討]	全空港へのLED灯火の導入促進			[導入・運用]	[導入・運用]	[導入・運用]
空港車両	EV・FCV化	○開発済の車種	実証	集中的な導入の促進 (まずは既にEV・FCV化されている車種を中心に導入を進める)			[導入・運用]	[導入・運用]
	○未開発の車種	車両開発・製品化の促進			導入促進			
	○充電・水素ステーション	実証	EV・FCV導入に合わせた整備の推進			[導入・運用]	[導入・運用]	
	○既存車両への対策	バイオ燃料等利用環境整備			順次EV・FCV導入促進			
空港の再エネ拠点化	太陽光発電	○空港内(平置き、カーポート、建築物(屋根)等)	導入検討	集中的な導入の促進			[導入・運用]	[導入・運用]
	○空港周辺未利用地(平置き等)	適地調査	導入検討	集中的な導入の促進			[導入・運用]	[導入・運用]
	○制限区域内平地(着陸帯Ⅱ等)	安全性および技術開発の調査検討	検討結果を踏まえた導入実証	導入拡大				
	○次世代型太陽電池<ペロブスカイト等>(2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略 重要分野における工程表(抜粋))	開発競争の促進			新市場への製品投入			
		新市場を想定した実証事業・製品化						

空港の脱炭素化に向けた工程表(その他の取組)

各メニューの取組

凡例



		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	~2030年度	~2050年度	
航空機 (駐機中)	GPU導入	○固定式GPUの整備・移動式GPUの配備 		○移動式GPUのグリーンエネルギー化 			○移動式GPUのバイオ燃料化 		 <p><small>(固定式導入済9空港については固定式を、その他空港については移動式を基本とする。また固定式導入済空港において、電気のみ対応となっているスポットについては、空調供給の追加整備を行う。)</small></p> 
	APU使用時間短縮規定								
航空機 (地上走行中)	誘導路整備による地上走行距離短縮								
空港アクセスからのCO2排出削減方策									
その他再エネ等	風力、バイオマス、水素等の利活用								
横断的取組	空港全体のエネルギーマネジメント								
	地域連携・レジリエンス強化								
	炭素クレジット創出								


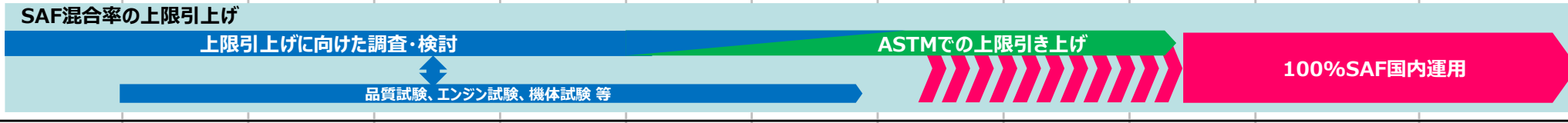
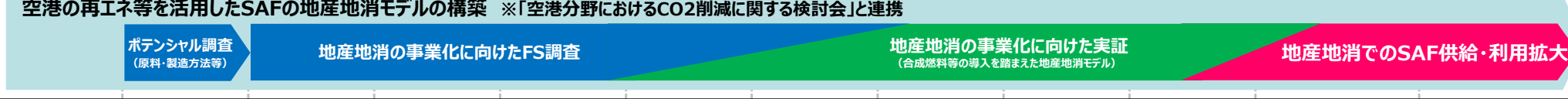
(参考)関連工程表

航空機運航分野におけるCO2削減に関する検討会 工程表 (抜粋)

②管制の高度化による運航方式の改善

		2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	~2030年	~2040年
出発・到着	燃費の良い上昇・降下の実現							将来の航空交通 システムの進展や 技術開発の動向を踏まえながら、航空交通全体の最適化等について、更なる 取組を推進
空港面	地上走行の最適化							

③SAFの導入促進、炭素クレジット

		2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	~2040年	~2050年
SAF	チェンブリ構築												
	国際標準化等												
	地産地消												
炭素クレジット	国際航空	